

改訂コアカリに準拠した実務実習開始後 アンケート確認事項 案

作成 鈴木 匡

**大 学：**① 新しい実務実習に対応する学生の準備教育の状況

(参加・体験型の実務実習を早期から継続的に実施できる能力の習得にむけ、)

- 1) 大学が実施した臨床準備教育のレベルアップの内容
- 2) 新しい実務実習の評価等に対応する評価方法の導入

(この調査事項の中で改訂コアカリ並びに新しい実務実習に対応する薬学  
共用試験についても意見聴取を行う。)

② 先行導入の効果確認

- 1) 参加・体験型の実習は実施することができたか
- 2) 代表的な疾患についての対応は進んだか
- 3) 新しい評価方法は有効であったか、実習生との理解は進んだか

③ 実習施設との連携への主体的関与

- 1) 新しい実習に対応できる施設かどうかの施設要件の確認状況
- 2) 新しい実習準備の薬局・病院施設への説明と確認状況
- 3) 実務実習実施計画書の作成と伝達状況
- 4) 薬局・病院施設の実習状況の情報共有をどのように主導するかその工夫

④ 実習評価の確認

- 1) 各施設の実習状況の確認  
参加・体験型の実習は推進されたか。ガイドラインに従った  
実習がどの程度まで実施されているか
- 2) 収集した実習評価の今後の各大学での活用方法

**薬局・病院：**① ガイドラインに準拠した新しい実務実習への準備状況

- 1) ガイドラインへの対応状況  
実習体制、参加・体験型の実習推進、実習評価・方略の見直し
- 2) 大学からの情報提供、情報共有の状況

② 先行導入並びに実務実習実施施設での効果確認

- 1) 参加・体験型の実習は実施することができたか
- 2) 代表的な疾患についての対応は進んだか
- 3) 新しい評価方法は有効であったか、実習生との理解は進んだか
- 4) 大学の臨床準備教育の理解は進んだか、実習生は参加・体験型の  
実習に対応できる能力を身に付けていたか
- 5) 大学、連携する病院・薬局との情報共有は進んだか、有効であったか